



2021年5月14日

各 位

会 社 名 FRACTALE株式会社
 代表者名 代表取締役社長 堀江 聡寧
 (コード番号 3750 東証第二部)
 問合せ先 経営企画部長 関本 秀貴
 (TEL. 03-5501-4100)

2021年3月期連結業績と前期実績との差異及び剰余金の配当（期末配当無配）

に関するお知らせ

2021年3月期（2020年4月1日～2021年3月31日）連結業績において、業績予想を開示しておりませんでした。下記のとおり、前期実績との差異についてお知らせいたします。また、未定としておりました期末配当金につきまして、本日開催の取締役会において、2021年3月31日を基準日とする剰余金の配当（期末配当）を行わないことを決議いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期の連結業績と前期実績との差異

(1) 差異の内容

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 期 実 績 (A)	百万円 1,180	百万円 △129	百万円 △185	百万円 319	円 銭 47.58
2021年3月期実績(B)	1,388	△731	△745	△831	△101.64
増 減 額 (B-A)	207	△602	△560	△1,151	—
増 減 率 (%)	17.6%	—	—	—	—

(2) 差異が生じた理由

2021年3月期連結業績は、上記のとおりとなりました。

売上高に関しまして、メディカル事業では、セルーション遠心分離器の販売が好調に推移しました。リアルアセット事業では、ホテル事業が新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けましたが、不動産事業でテナントビルの安定的な賃料収入が得られたことに加え軽井沢の販売用不動産を売却することができました。これらの結果、売上高は前期よりも207百万円増加し1,388万円となりました。

損益面に関しまして、メディカル事業では、新株予約権に係る株式報酬費用を211百万円計上しました。リアルアセット事業では、ホテル事業にて新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けました。これらの結果、営業損失731百万円、経常損失745百万円、親会社株主に帰属する当期純損失831百万円となりました。

2021年3月期業績の詳細につきましては、本日公表の「2021年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」もあわせてご参照ください。

2. 剰余金の配当（期末配当）

(1) 剰余金の配当

	決定額	直近の配当予想 (2021年2月10日)	(ご参考) 前期実績 (2020年3月)
基準日	2021年3月31日	同左	2020年3月31日
1株当たり配当金	0円00銭	未定	10円00銭
配当金の総額	—	—	67百万円
効力発生日	—	—	2020年6月26日
配当原資	—	—	利益剰余金

(2) 修正の理由

当社は、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保するとともに、株主の皆様に対しては安定配当を目指しつつ、業績と配当性向を勘案して、定期的な利益還元を努めております。しかしながら2021年3月期は新型コロナウイルス感染拡大によって引き起こされた営業活動の停滞・制約が通期連結業績に甚大な影響を受けたこと等により、会社株主に帰属する当期純損失831百万円を計上する結果となりました。つきましては、誠に遺憾ではございますが、2021年3月期の期末配当金を「未定」から「無配」に修正させていただきます。

・以 上